

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和5年2月28日

事業所名：放課後等デイサービスフェローKIDS

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。  
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保		○		人数が増えると狭く感じる。今のスペースを活用して、より広く感じる席の配置を考えたい。	16	1	2	1	利用者さんがフル人数で使われているときは教室が割と密。特にコロナ禍は少し気になった。	スペースが広く活用できる環境設定を考えると、感染症に対しては換気の徹底をしていく。
	2 職員の適切な配置		○			16	2	0	2	途中で教えてくれる先生がいなくなった。その分自分で調べる力がついたよう。基本的なところまでは教えてくれる先生がいると安心。	基本的には適切な人数よりも多めにスタッフを配置できるよう心掛けている。ITスキルの向上に努めていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○			車いすの利用者さんは入り口に近い場所に誘導している。また、活動中、視界に入る情報が少ないので、集中して取り組みやすくなっている。	16	2	1	1	教室を見ていないのでわからない。	エレベーターや簡易スロープを使用している。また、トイレには手すりを設置し転倒防止に備えている。壁面は装飾を減らし、集中できる環境づくりに配慮している。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				18	2	0	0	実際に見たわけではありませんが、子どもが行くのを楽しみにしている。	これまでと同様に快適な環境の確保に努める。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画		○		毎月振り返りの時間をとっている他、エクセル表などを活用し現状の把握をしている。振り返りの時間を今よりも多く取り、日々の支援に生かしていきたい。						申し送りや部署会議の時間を活用し振り返りまで行っていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施		○								必要に応じて外部評価を取り入れていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○			定期的に研修や勉強会を実施している						今後も定期的に研修や勉強会を実施し、外部研修への参加も促す。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				18	2	0	0		ご家族や本人からの聞き取りを行い適切に作成していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				18	2	0	0		個別支援計画及び、利用日ごとの連絡帳に記載していく。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○			集団と個人の活動のメリハリを、子どもたちにも感じてもらえるような声かけを行なっていきたい。						スタッフ間で話し合い、声掛けの内容や方法についても検討していく。



区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
※ 機関との連携（続き）	5		○		モニタリング時に話す程度であり、もっと情報の提供ができたらいと感じる。	/	/	/	/		今後は活動記録等を速やかに提供できるように努めてまいります。
	6			○	今後さらに連携をしていきたい。	/	/	/	/		研修や関係機関が集まる機会の周知をし、スタッフがお互いに参加を促していきます。
	7			○	現状は連携不足。リモートを用いて地域との交流の場を作りたい。	5	2	1	12		リモートを活用する等感染症対策に留意し、実施を検討していく。
	8			○	以前はあったが、感染症対策で難しくなっている。	/	/	/	/		感染症対策を踏まえ、実施できるよう検討していく。
保護者への説明責任・連携支援	1	○				19	0	0	1		モニタリング時や保護者からお問い合わせがあった時など、必要に応じて説明させていただきます。
	2	○				17	2	1	0	コロナで直接お話しする機会がないのでしかたないと思う。	必要に応じてメールや電話等を活用し、説明をしていきます。
	3			○	都度話し合いの場を設けているが、わからないことお多く、できていない。	11	6	1	2	オンラインなどで勉強会みたいなものをしていただけると嬉しい。	オンラインでの開催を視野に入れ、今後は保護者勉強会も行っていきたい。
	4	○			保護者面談ではお子さんの進路について話し、保護者さんの知らない情報を伝えることができた。日々、連絡帳でしかやり取りのない保護者さんへのアクションをもっとしていきたい。	17	2	0	1	送迎時の担当者により、随分違いがある。	定期的に保護者面談を実施していく。また、送迎ドライバーによる申し送りを強化する。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからな い		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○			必要に応じて電話等でしている	16	4	0	0	送迎時に様子をお尋ねすると教えてくださいますので有難い。	必要に応じて電話やメール、送迎時などでお話しさせていただく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援			○	もっと連携が必要だと感じている。	4	2	4	10	父母会があることを存じませんでした。コロナで他の保護者とお会いする機会もないので仕方ないと思います。	コロナ対策も踏まえて情勢を見ながら実施していけるよう検討していく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	○			必要に応じて話し合う場を作っている	14	1	0	5	相談や疑問に思ったことは、お尋ねすると確認してくださるので助かります。	今後も必要に応じて迅速に話し合いの場を設け、誠実に対応し、安心してご利用いただけるようにする。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	○				18	1	0	1	職員数が多く、送迎者もよく分からない方だったりもするので、意識統一は難しいので、保護者との意見交換も難しいだろうと思われまます。	職員同士での共有を徹底していく。送迎時だけでなく電話等を用いながらより良い情報伝達ができるよう心掛ける。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	○			イベントチラシや事業所の通信等を活用している	18	0	0	2		引き続き近況の情報をお届けできるよう、通信を活用していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	○			個人情報を書いている書類は事務所及び、事業所から外に出さないようにしている	19	0	0	1		個人情報保護を徹底し、適切な取り扱いを行う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	○			スタッフへの周知と防災訓練をしている。	14	4	0	2	以前の水害時の避難場所変更はお願いした。神社でとっておきなら、東雲神社がよいと思う。年に一回位でメールがある程度のような感じで、しっかりと伝えるという感じが伝わってこない。	安全な避難ができるよう訓練していく。広報誌等での発信をしていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	○			利用者を交えて法人全体で訓練をしている	17	1	0	2	その日に活動した子どものみでは訓練とは言いにくいと思う。	避難訓練の報告書の作成や、周知など方法を検討する。
非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	○			委員会を設置し、研修を行っている。						虐待防止委員会を中心に、今後も計画的に研修を行っていく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	○			支援計画に記載している						契約時の説明、個別支援計画への記載を今度も徹底する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	○			お弁当の注文時に必要なこと（卵抜きとか）を担当者に伝えている						アレルギーの有無を都度確認しながら適切に対応していく。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	○			事案があったときに速やかに作成するようにしている						ヒヤリハット事例集を速やかに作成して残り、スタッフ間で共有していく。